

第2学年〇組 英語科学習指導案

日 時：令和7年〇月〇日（〇）第5校時
場 所：2年〇組教室
授業者：〇〇 〇〇
ALT：〇〇 〇〇

1 単元名 NEW HORIZON English Course 2 Unit5 What design is good for everyone?

2 単元について

本単元は、日常生活に浸透しつつあるユニバーサルデザイン（以下UD）が紹介されている教材である。文化・言語・国籍・年齢・性別・能力などの個人の違いにかかわらず、全ての人が安心して快適に利用できるように、街や建物、製品や環境、サービスなどがデザインされていることに目を向けさせ、誰もが暮らしやすい社会について考えさせたい。言語材料としては、疑問詞＋不定詞、接続詞の If... / When ... / Because ... / I think(know)などに続く接続詞 that を用いた文が取り上げられている。これらを用いて、生徒は、UDという社会的な話題について、①使い方②工夫されている点③どんな場合・人に役立つのか④自分の考えやその理由、感想などについてやり取りをして、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めさせたい。本文と Small Talk を組み合わせながら、単元ゴールに向けて上記内容を整理させるように指導する。

3 生徒の実態について<省略>

4 研究との関連

(1) 研究主題「英語で自分の思いや考えを主体的に表現することができる児童生徒の育成」

(2) 実現に向けての方針

- ① 自分の考えや思いを伝えあう活動（言語活動）を行う時間を多くする。

本単元では、ユニバーサルデザインについて調べたことを整理し、やり取りする場面が扱われている。生徒たちも、一番大切だと感じたユニバーサルデザインについて、相手にそのUDの良さが伝わるような紹介ができるようにしたい。

また、帯活動で行っている Small Talk を通して、普段の授業から話す場面を増やし、慣れていけるようにし、英語を使う楽しさや面白さについても普段から意識して感じられるよう指導していく。聞き手は、ただ聞くだけでなく常に質問や自分の考えを話せるよう普段から慣れさせていく。

- ② 単元計画を作成し、毎時間の指導計画の充実をはかる。（必要感のあるねらい・まとめ・振り返り）

教科書の本文で取り扱うUDの紹介を例にしながら、教科書の文を引用するなどして、自分の考えや感想を伝え合う言語活動を通して、最後は自分の選んだUDについてやり取りをできる力を養っていく。

- ③ 単元目標に向けての各自の学習を補うような学習用デジタル教科書の活用法を研究し、実施する。

教科書の本文で扱われている言語材料の確認や、自分の選んだUDの紹介に引用できる表現に線を引いて活用したり、音声を確認したりする。また、わからない単語や重要表現には印をつけて振り返られるようにする。

- ④ 小中の接続を踏まえた指導方法の改善・充実(カリキュラムの作成)をはかる。

5 単元の目標

ユニバーサルデザインを通して、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるために、自分が選んだユニバーサルデザインについて、簡単な語句や表現を使用して、情報や特徴、自分の考えや感想についてクラスメイトとやり取りをすることができる。

・疑問詞＋不定詞、形容詞＋that の特徴やきまりを理解し、ユニバーサルデザインの基本情報や特

徴、自分の考えや感想を英語で伝え合う技能を身に付けている。 〈知識及び技能〉

- ・ユニバーサルデザインを通して、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるために、自分が選んだユニバーサルデザインについて、情報や特徴、自分の考えや感想などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・ユニバーサルデザインを通して、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるために、自分が選んだユニバーサルデザインについて、情報や特徴、自分の考えや感想などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 単元の評価規準

(本単元における「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと(発表)」、「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」 (や)	<p>〈知識〉</p> <p>① 疑問詞＋不定詞、形容詞＋that の特徴やきまりを理解している。</p> <p>〈技能〉</p> <p>② ユニバーサルデザインの基本情報や特徴、自分の考えや感想を英語で伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>ユニバーサルデザインを通して、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるために、自分が選んだユニバーサルデザインについて、情報や特徴、自分の考えや感想などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p>	<p>ユニバーサルデザインを通して、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるために、自分が選んだユニバーサルデザインについて、情報や特徴、自分の考えや感想などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画(10時間扱い)

時	目標(◆)・活動(○) ☆Small Talk のトピック	評価			◎評価規準〈評価方法〉
		知・技	思・判・表	態	
1	<p>◆単元の目標を理解する。</p> <p>◆UD の導入としての教師の話を聞いて、現代の社会でどんな人がどんなことで困っているのか概要を捉えることができる。</p>				
	<p>○ALT が日本に来て困ったこと、あって助かった日本の UD を紹介する。</p> <p>○現在の社会でどんな人がどんなことで困っているのかの話をして、概要を把握する。</p> <p>○身近な UD と海外の UD についてグループで調べる。</p> <p>○宿題として町の中、学校の中で「これは誰かにとって不便かもしれない」と思う場所、もの、サービスを写真を撮ってくる。</p>				
2	<p>◆ユニバーサルデザインフェアに関する本文を読んで、要点を捉えることができる。</p>				
	<p>○ユニバーサルデザインフェアのお知らせを読む。</p> <p>○本文を通して、疑問詞＋不定詞の意味と用法を理解する。</p> <p>○写真で撮った場所、もの、サービスがどこにあったのか、誰が困るのか、なぜその人にとって難しいのかを考える。</p>				

3	◆UD の視点から自分の見つけたの場所について、やり取りをすることができる。 ☆Small Talk 自分の見つけた UD について① 撮ってきた写真がどこにあったのか、誰が困るのか、なぜその人にとって難しいのか。				
	○疑問詞＋不定詞の文の特徴や用法を理解するために動画を見たり、練習をする。				
4	◆イベントスタッフとアナの会話を読んで概要を捉えることができる。				
	○前時に行った Small Talk をもう一度行う。 ○オクリンクプラスを活用し、グループで町や学校での問題や UD について共有する。 ○アナとイベントスタッフの会話を読む。 ○本文を通して動詞＋人＋疑問詞＋不定詞の意味と用法を理解する。				
5	◆自分の見つけた UD について、その特徴や使い方、メリットなどについて伝え合うことができる。 ☆Small Talk 自分の見つけた UD について② 特徴や使い方、メリットなどについて				
	○動詞＋人＋疑問詞＋不定詞の特徴や用法を理解するために動画を見たり、練習をする。 ○自分の見つけた UD について、やり取りをしたり、やり取りしたことをまとめる。				
6 本時	◆アナの UD の説明を読んで、概要を理解することができる。				
	○前時に行った Small Talk をもう一度行う。 ○本文を通して、形容詞＋that の意味と用法を理解する。 ○アナの UD の説明を読む。				
7	◆UD に対する自分の意見・感想について伝え合うことができる。 ☆Small Talk 自分の見つけた UD について③ UD に対する自分の意見・感想				
	○形容詞＋that の文の用法を理解するために動画を見たり、練習をする。 ○UD に対する自分の意見・感想についてやり取りをしたり、やり取りしたことをまとめる。 ○パフォーマンステストに向けた準備をする。				
8	◆誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるためにクラスメイトと UD についてやり取りすることができる。				
	○クラスメイトとそれぞれが選んだ UD についてやり取りをする。				
9	◆誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるためにALTとUDについてやり取りすることができる				
	○ALTと選んだUDについてやり取りをする。	や ① や ②	や	や	○疑問詞＋不定詞、形容詞＋that の特徴やきまりを理解している。 ○UD の基本情報や特徴、自分の考えや感想を英語で伝え合う技能を身に付

					<p>けている。</p> <p>◎UDを通して、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるために、自分が選んだUDについて、情報や特徴、自分の考えや感想などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> <p>◎UDを通して、誰もが暮らしやすい社会について考えを深めるために、自分が選んだUDについて、情報や特徴、自分の考えや感想などを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p>
10	◆UDの生みの親、ロナルド・メイスについての本文を読み、概要を理解することができる。				
	○UDの生みの親、ロナルド・メイスについての本文を読む。				
	○本文に関する問題を解く。				

8 本時の学習指導（6/10時間）

(1) 目標 アナのUDの説明を読んで、概要を理解することができる。

(2) 展開

過程	○学習活動・学習内容	・指導上の留意点 ◎評価<方法>
導入 14分	<p>○Greetings</p> <p>○Small Talk ~Topic~</p> <p>自分の調べてきたUDの特徴や使い方、メリットについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同士で聞き合う。 生徒がミスをしている表現、新たに子ども達から挙げた表現を中間指導で紹介する。
展開 31分	<p>○Introduction</p> <p>○Today's goal を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> A L Tと役割を分け、Before you readの部分を導入する。 生徒が聞き取りにくいところはスライドで理解を補う。
	<p>Goal: 本文を通して、アナの紹介するUDとアナの考えを理解しよう。</p> <p>○Reading</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で読む ペアで内容を確認する。 全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で読む際、分からないところは学習者用デジタル教科書を活用するよう伝える。 ペアで内容を確認する際のポイントを伝える。 スライドを使いながら本文の概要を確認する。

	○Unit activity ・UDに関する自分の考えをまとめる。 自分の選んだUDについてどう考えるか。 単元を通してUDについてどう考えたか。	・重要表現を使おうとしている生徒の内容を拾って、全体共有を図る。
まとめ 5分	○Self-Evaluation ・自己評価をして目標に対する到達度を確認する。	・パフォーマンステストのイメージがもてるようにする。

9 板書計画 ※パワーポイントを使つての説明や活動を主に行う。

Today's goal: 本文を通して、アナの紹介するUDとアナの考えを理解しよう。						
Greeting	基本文	+ α	言いたかったこと	リアクション	疑問詞	主語
Small Talk					Who	do you
Introduction					What	did you
Today's goal						
Reading						
Unit activity						
Self-Evaluation						